

形成外科領域専門研修における必要経験症例一覧

経験症例数 経験執刀数

I 外傷	60	10	上肢・下肢の外傷、外傷後の組織欠損(2次再建)、顔面骨折、顔面軟部組織損傷、頭部・頸部・体幹の外傷、熱傷・凍傷・化学損傷・電撃傷、など
II 先天異常	15	4	頸部の先天異常、四肢の先天異常、唇裂・口蓋裂、体幹(その他)の先天異常、頭蓋・顎・顔面の先天異常、など
III 腫瘍	90	18	悪性腫瘍、腫瘍の続発症、腫瘍切除後の組織欠損(一次・二次再建)、良性腫瘍、など
IV 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	15	3	肥厚性瘢痕・ケロイド、瘢痕拘縮
V 難治性潰瘍	25	3	褥瘡、その他の潰瘍(下腿・足潰瘍を含む)、など
VI 炎症・変性疾患			顔面神経麻痺、手足の炎症・変性疾患、
VII その他			その他(眼瞼下垂、腋臭症、など)
VI VII合わせて	15	2	
VIII 美容外科			手術、処置(非手術、レーザーを含む)
指定症例の総計	220	40	
自由選択枠	80	40	
総合計症例数	300	80	